

整理番号	28-6	事務事業名	市道照明灯維持補修事業	作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務		部長職名	齊藤順二	課長職名	高橋孝一
事務事業開始年度	H3	根拠法令等	道路法第8条、第16条、第42条				
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	道路照明灯の経年劣化による腐食及び錆を未然に防止するため、計画的な補修事業を実施してきている。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	市内幹線道路・生活道路等の整備	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	道路を利用する人	
	意図(何をねらっているのか。対象をどのような状態にしたいのか)	通行車両及び歩行者等の夜間通行の安全確保のため、道路照明灯の適正な維持管理を行う。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(補助金等の場合は団体等の活動内容)	16年度まで	平成12年度～ランプ取替え 70基 照明灯設置 2基 計 72基 平成13年度～塗装塗替え 82基 灯具交換 23基 照明灯設置 1基 計 106基 平成14年度～照明灯設置(共架タイプ) 11基 照明灯設置 12基 計 23基 平成15年度～照明灯撤去設置(共架タイプ) 15基 照明灯設置 7基 計 22基
		17年度	他の政策的事業との優先順位や財政的な問題などから、次年度以降の対応とする。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	2,825	0	0	0
合計	2,825	0	0	0	
人件費(概算)	人数(年間)	0.08	0.00	0.00	0.00
	1人当り年間平均人件費	9,235	9,000	9,000	9,000
	= ×	739	0	0	0
総事業費 +		3,564	0	0	0

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	灯柱塗装(基)	0基	0基	0基	0基
	灯具取替(基)	0基	0基	0基	0基
	ポール取替(基)	22基	0基	0基	0基
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	整備補修率(%) (整備補修数÷照明灯総数1,869基)	1.2%			
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	照明灯整備補修1基当りコスト (総事業費÷整備補修数量)	162千円/基			

整理番号 28-6

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	経年変化による照明灯施設の老朽化が進んできており、計画的な補修事業が求められている。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	道路施設である道路照明灯の維持管理であるため、市が行う事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	道路照明灯の補修事業は、夜間交通安全確保のための適正な維持管理であることから、目的は妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。他の手段や委託化などの可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	1,869基ある道路照明灯の現時点での劣化状況を把握するため、定期点検の強化を図る必要がある。	照明灯管理システムを活用して照明灯の劣化状況を適切に把握し、補修を進める。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担の余地はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	交通に支障なく照明の点灯を保持しているが、経年劣化の対策が不十分である。	経年劣化による損傷防止のため、定期点検の強化と照明灯管理システムを活用し、計画的な補修を実施する。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	現在、道路照明灯の経年劣化の状況把握が不十分である。	照明灯管理システムを活用し、効率的な補修事業を進めてコスト節減を図る。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	照明灯の劣化状況を把握するため、定期点検の強化を図る照明灯管理システムを活用し、補修履歴等をデータ化して効率的で計画的な補修事業を進めていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり